

沿革

- 1956年(昭31年) 大田区精神薄弱者育成会を結成
- 1958年(昭33年) 第1回合同運動会に後援・参加(現・特別支援学級連合運動会)
- 1961年(昭36年) 東京都精神薄弱育成会の発足に伴い、そこに加入
- 1962年(昭37年) 理解啓発のため、愛のひとしづく鉛筆(現・心のとも鉛筆)(*1) 販売開始
- 1964年(昭39年) 職業訓練所を大田区立馬込生活館内に開設(作業所の前身)
- 1966年(昭41年) 職業指導室を池上福祉事務所内に開設
- 1969年(昭44年) 福祉手当支給の請願書を大田区に提出
- 1970年(昭45年) 大田区内に精神薄弱児の養護学校(現・東京都立矢口特別支援学校)の設置運動を開始
- 〃 職業指導室を大田区に移管(現・大田区立新蒲田福祉センター福祉作業室)
- 1982年(昭57年) 「まごめ作業所」開設
- 1986年(昭61年) 「まごめ第二作業所」開設
- 1988年(昭63年) 親なきあとのケア付生活寮として「西六郷生活ホーム」開設
- 1989年(平元年) 親なきあとのケア付生活寮として「南馬込生活ホーム」開設
- 1993年(平5年) 社会福祉法人大田幸陽会設立
- 〃 「まごめ第二作業所」を法内施設「まごめ園」とし、「西六郷生活ホーム」「南馬込生活ホーム」の運営を社会福祉法人大田幸陽会に移管
- 〃 「まごめ作業所」を大田区に移管(現・大田区立うめのき園)
- 1997年(平9年) 「大田区精神薄弱者育成会」を「大田区知的障害者育成会」に改称
- 2000年(平12年) 「しづくかわら版」(*2) 第1号を発行
- 2001年(平13年) ティーラウンジ「すばる」(*3) を開店
- 2006年(平18年) 50周年式典祝賀会・コンサートを開催
- 2007年(平19年) 大田あんしんネット委員会発足(理解啓発活動開始)
- 2012年(平24年) あんしんネット部発足
- 2015年(平27年) 60周年記念行事「ありがとう矢口特別支援学校」イベント開催
- 2017年(平29年) 60周年記念式典祝賀会を開催
- 〃 「大田区知的障害者育成会」を「大田区手をつなぐ育成会」に改称

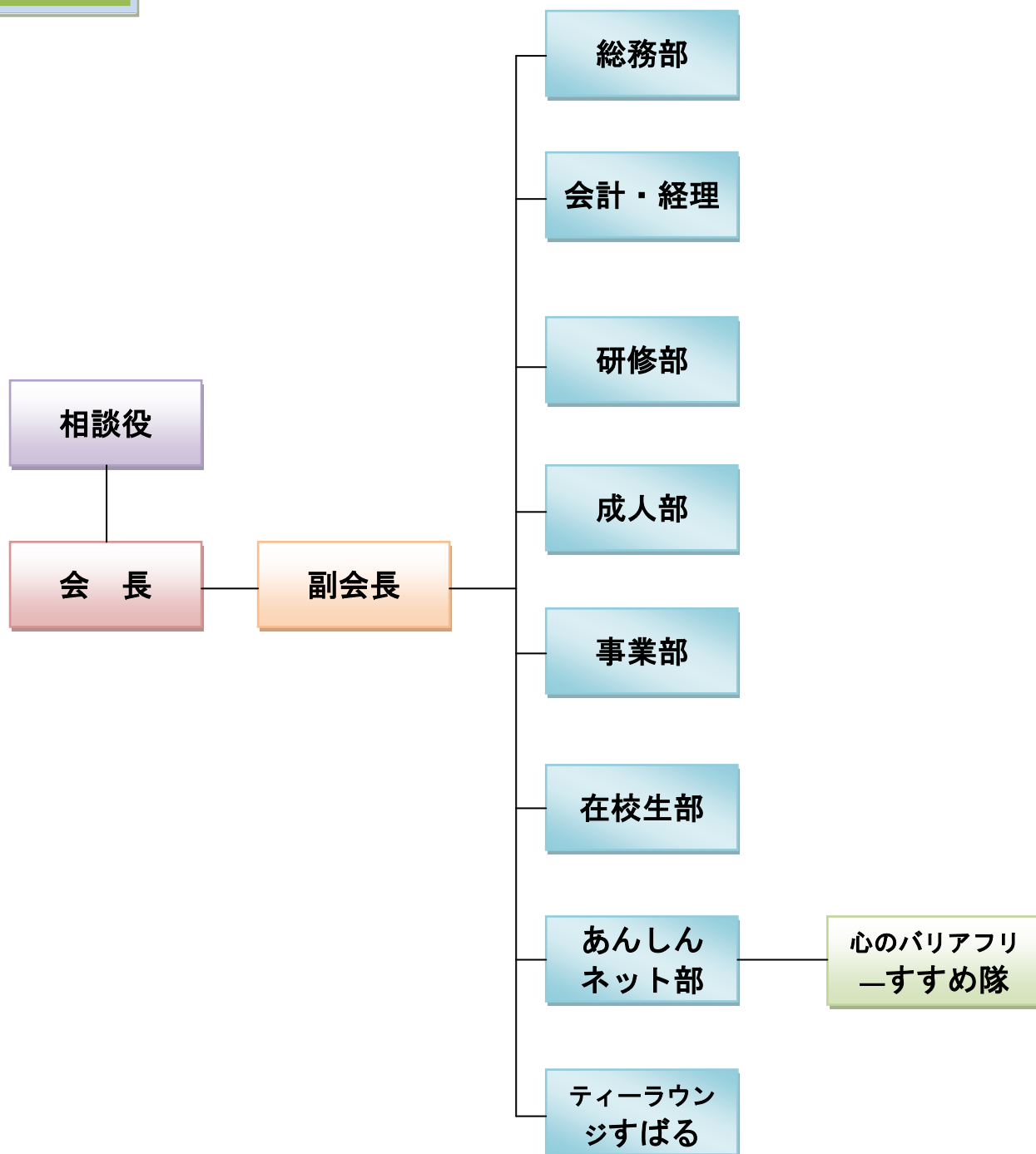
(*1)愛のひとしづく鉛筆(現・心のとも鉛筆)

障害者を理解していただくためとともに育成会の事業運営資金集めのために発足し、地域への啓発・会の運営資金源として現在に至る。

(*2)広報誌「しづく」として1960年(昭35)7月に第1号を発行。「しづくかわら版」第1号は、2000年(平12)に発行。「しづく」は年3回の発行とし、「しづくかわら版」はタイムリーな話題を会員さんに発行している。

(*3)「大田文化の森」開館と同時に会の新事業として、知的障害者がより多くの区民の皆さんとふれあいながら働ける場所として誕生した。職場実習の場としてもおこなっている。

組織



会員の構成

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

会 員	
・ 在校生 (未就学児・学校)	304名
・ 成人部 (通所施設・就労・その他)	855名
・ 賛助会員	50名
総 計	1,209名